総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 榊葉 氏子会 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮

榊葉

さかきば

常陸國總社宮社報
第5号
平成27年元旦発行

ごあいさつ

常陸國總社宮
宮司 石崎 雅比古

平成27年の新しい年を迎え、氏子崇敬者の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃より当宮護持、諸行事に格別なるご高配を賜わり深く感謝を申し上げます。

伊勢神宮では第62回式年遷宮を平成25年10月に完遂されて以来全国より多くの参拝者が訪れ大変なにぎわいを見せております。当宮でも昨年6月14日・15日に参宮旅行を実施し、70名の皆様と参拝して参りました。氏子の皆様と共に新宮を参拝出来ましたことはこの上ない喜びでございました。

御田植祭、禊場の復活に続き、昨年11月には50年ぶりに菊祭を復活いたしました。總社園遊会と題し、新しい行事も取入れ多くの方々にご参拝いただきました。氏子青年ひたみち会をはじめご奉仕いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

昨年6月30日に準備を進めて参りました本殿修復奉賛会が設立され、平成28年2月工事開始、9月竣功に向け、別紙の通り奉賛活動を推進しております。何卒趣旨ご賢察の上ご協力を賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

本年のご皇室の弥栄、国家の安泰、皆様のご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 氏子会 榊葉 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮 総社宮

總社宮ニュース

總社園遊会開催

常陸國總社宮ではかつて菊花祭が開催されていましたが、昭和39年に起こった火災以降、中断していました。十六菊花紋を社紋とし、9月9日（重陽の節句）を例祭日とする当宮は菊と縁の深い神社です。この伝統ある催しを復活すべく、昨年設立された氏子青年ひたみち会と市内外の有志が実行委員会を組織し、昨年11月に「總社園遊会」と名称も新たに菊花祭が開催されました。

市内の愛好家の皆さんの奉納により特設の菊小屋などに飾られた菊花は合計１００鉢以上。11月1日から16日の２週間境内を彩り、大神様と参拝客の目を楽しませました。七五三詣りのお子様たちは菊を背景に記念写真を何枚も撮影されておりました。

菊花の展示のほか、期間中はいくつかの催しが行われました。初日夕刻には開始奉告祭を拝殿で斎行しひたみち会の浅田真会長が神前に菊花を奉納。菊花がライトアップされ、参集殿でオープニングレセプションが開かれ、白菊酒造様御奉納の樽酒で鏡開きを行いました。

11月2日には「鎮」と題して４種類の「癒しのワークショップ」を開催。境内で瞑想などを行い心身を浄化する鎮守の杜セラピー、権禰宜が講師を務めた祝詞毛筆ワークショップ、インストラクターの石原志穂さんによる菊花を楽しむ美人ヨガ、そして神道行法鎮魂講座がそれぞれ開催され、多くの方にご参加いただきました。

11月9日は「装」と題して和装のファッションショーを開催。市内で和服を扱う各店舗に衣装をお借りして氏子を中心に選ばれたモデルさんたちが着物姿で大広間に敷き詰められた赤いカーペットを颯爽と歩きました。詰めかけた観客は２００名以上。華やかなショーの様子を楽しみました。ショーの中では和yawagari マエノ様が境内の榊の葉を使って染めた常陸お国染・衣袖漬染の反物が披露されました。

11月16日の最終日には地元食材と地酒のディナーを開催。参加された30名は市内に在住する料理家の田中久美子氏が腕を振るったフランス料理のフルコースと地元四酒蔵が選んだ自慢の日本酒の数々に舌鼓を打ちました。

数多くの方々の御協力により新たに始まった「總社園遊会」。来年以降も開催して参りますので皆さん楽しみになさって下さい。

【御協力各社】常陸國總社宮氏子会・石岡商工会議所・一般社団法人石岡青年会議所・イタリアンパン工房 Forno a legna panezza 角谷聡・石原志穂・飯塚久・弓野多喜男・神代司郎・諸岡忠三郎・斉藤憲・齋藤武利・わたなべ建築・浜野工務店・有限会社高中生花店・木村生花店・株式会社花泉・大泉拓也・DJ KA-KUN・石川住建株式会社・アイビック東京衣裳株式会社・石岡写真夢楽・AZUL石岡店 ・和 yawaragi マエノ・Sharaku 石岡店・中村写真館・ベル・アージュ・茨城理容美容専門学校・装道桜井きもの学院・ＮＰＯ法人きものを着る習慣をつくる協議会・石岡プラザホテル・石岡清酒協議会・石岡酒造株式会社・白菊酒造株式会社・府中誉株式会社・藤田酒造店・田中農園・ペトラン・田中庸介・田中久美子・Yasato de トレタ・愛知ドビー株式会社・本多園芸・石岡第一高等学校・モデル出演の皆さん

（順不同敬称略）

ファッションショー終了後に集まった29名のモデルさんたち。 4名は外国からのご参加でした。BGMは土浦やつくばで活躍するDJ KA-KUNが雅楽をアレンジした世界初の音楽を流しました。

参道脇の菊小屋。その他拝殿や参集殿付近にも菊花を飾ります。

菊花の奉納を募集します

ひたみち会設営の菊小屋には愛好家の皆さんによる菊花が飾られました。

来年も10月～11月に總社園遊会を開催し菊花の奉納を募集します。境内をより多くの菊花で彩るため、みなさまの御奉納をお待ちしています。お問い合わせは社務所まで。

参集殿で行われたヨガの様子。定員を超える参加をいただきました。

神社がレストランに大変身。有志でウェイターを務めました。

總社宮の一年

交通安全特別祈願祭

当宮では毎年4月の交通安全週間に合わせ、特別祈願祭を行っております。昨年は4月13日に斎行し、祈願者は神前に家族と自動車、自転車などの安全をお祈りしました。当日は石岡警察署の協力により交通安全に関する講話も開催。神札やお守りとともに交通安全協会の記念品も配布されました。

夏越大祓 茅の輪くぐり

6月30日は一年のちょうど真ん中に当り、半年分の罪穢をお祓いする夏越大祓が行われる日です。人形（ひとがた）に息を3回吹きかけて自分の罪穢を移し、さらに茅で作った大きな輪を参列者全員でくぐって心身を清浄な状態にする神事です。当日は直会として「長寿うどん」がふるまわれます。

新嘗祭

11月23日は全国的に新嘗祭が行われますが、当宮では恒例により毎年12月6日に斎行しています。5月に献穀田で御田植したお米はこの日に初めて神前に供えられます。当日の参列者にはこの「神米」が配られます。昨年は奉祝行事として餅つきを実施。子供たちも多数参加しました。

寒中禊

平成25年の12月29日に72年ぶりに復活した「みたらし道」の禊場。平成26年は例大祭初日である9月13日の早朝に神職と有志で禊を実施。さらに12月29日を禊復活の記念日として氏子青年ひたみち会の有志により寒中禊が敢行されました。これからも毎年同日に実施していく予定です。

例大祭

9月13、14、15日に平成26年度例大祭が斎行されました。年番・冨田町の仮殿には御分霊が二晩鎮座。大神様は、かつて總社宮境内にあった北向観音堂の観音様としばらくぶりに再会されました。晴天にも恵まれ、史上最多の47万8千人の観光客が来石。本年は9月15日を含めて4日間の斎行です。

© Seiji Tonomura

© Seiji Tonomura

◉平成27年度 年番町挨拶

仲之内町
祭典委員長
高城憲一

平成27年度例大祭の年番は仲之内町です。小さい町内ですので年番をお引受けするのは難しいと考えておりましたが、總社宮と氏子会双方から協力を惜しまないとのお話を頂き町内会で協議しました。毎年大事な露祓として冨田のささら、土橋の獅子と共に神霊を先導している事を考慮し、引き受ける事になりました。

引き受けました以上年番町として町内一致団結して準備して参ります。年番町として例大祭を盛大に行う為に今後は總社宮、氏子会、振興協議会、各町内の指導をお願いして何としても無事に立派な祭礼にしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

平成27年の例大祭

年番：仲之内町

15日　例　祭
19日　神幸祭
20日　奉祝祭
　　奉納相撲
21日　還幸祭

フォトブック「總」刊行！

人気雑誌『Ｐｅｎ』を中心に活躍する写真家の殿村誠士さんが2年にわたり撮影した写真で例大祭の魅力を紹介するフォトブック「總」が刊行されました。文章はフリーライターとしても活動する当宮禰宜が担当。日本語と英語が併記され外国人観光客にも読んでいただけます。社務所やいばらきマルシェで発売中。

（一冊８００円）

❖私と總社宮――❶

彫刻家
浅野暢晴

無何有の祭り

今年の3月11日から4月11日に「無何有の祭り」という展覧会を開催させて頂きました。禰宜である石﨑貴比古君から「總社宮に彫刻を展示してみないか」と誘われたのが平成22年10月だったので、開催に至るまで3年半もの時間を必要としましたが、（それ程に總社宮で展示をすることは、私にとって大きなプレッシャーでした）展示を考えるために總社宮を訪れた際には「この場所には、この作品を」とあっという間に展示のプランが決まっていきました。それは、神社には他の場所にはない「濃厚な余白」があるからだと思います。実は神社とは彫刻またはアートとの相性が非常に良い場所なのだ、と自分の作品を置いてみて深く理解する事が出来ました。訪れた方から「面白い試みですね」と好意的な反応を頂けたり、数多くのメディアに取り上げて頂けたりしたのも、そのせいかもしれません。また機会があれば、總社宮の余白を一時お借りして展覧会を開催できたら、と考えています。

❖氏子会だより――❺

氏子会名社参拝旅行
～伊勢神宮～

昨年の6月14～15日に氏子会名社参拝研修旅行が行われ、長谷川晴彦会長以下約70名が参加しました。今回参拝したのは伊勢神宮です。初日は外宮参拝後、式年遷宮の歴史を紹介する「せんぐう館」を見学。鳥羽シーサイドホテルに宿泊し、翌日は二見興玉神社を参拝しました。内宮を正式参拝後、御神楽を奉納しました。遷宮直後の新宮に詣でる清々しい参拝旅行でした。

つれづれおちこち神社めぐり

鹿島神宮と御船祭

常陸国の一の宮であり、總社宮とも関係の深い鹿島神宮では昨年9月、12年に一度の式年大祭「御船祭」が斎行されました。１２０艘もの大船団が海上を巡幸し、香取神宮の神様と再会する神話を再現する盛大な祭典です。總社宮からは禰宜と氏子青年ひたみち会の有志が奉仕のお手伝いをさせていただきました。

豆まき希望者募集中！

節分追儺祭

本年も2月3日に節分追儺祭・豆まき式が行われます。「節分」とは季節の分かれ目を指し、現在では一般的に立春の前日を意味します。追儺祭は鬼に扮した人を追う宮中儀式が民間に取り入れられたものです。

豆まき式

豆まきの希望者は電話または直接社務所までお申込み下さい。年男・年女以外の方でも可能です。団体での参加も歓迎します。

一、祭典時刻
　10・12・14・16・18時
一、初穂料　1万5千円
一、授与品　大神札、福枡、
　福豆、福引券等
一、服　装　袴（かみしも）
　※無料で貸出・着付します。
一、直　会　石岡プラザホテル
　※神社より送迎いたします。

福引の御案内

節分追儺祭では境内で余興として福引を行っています。景品を御奉納いただける方は社務所に御連絡下さい。御社名を明示の上、景品とします。

御奉納・御奉仕

●筆記用具
ぺんてる株式会社殿

●随神門用提灯
酒肴亭夛加木　髙木伸悟殿
髙木佑也殿　大関大樹殿
大関孝典殿　藤田雄也殿
酒井　実殿

●境内清掃
昨年度年番守横町殿（9月7日）
石岡ライオンズクラブ殿（10月11日）
石岡青年会殿（6月22日、10月26日、12月21日）

御来社

●加山雄三殿

❖本年のまつり暦

1月1日　元旦祭
2月3日　節分追儺祭
　吉日　香丸稲荷初午祭
　21日　祈年祭
3月　春季慰霊祭
4月3日　神武天皇遥拝式
　吉日　交通安全特別祈願祭
5月吉日　御田植祭
6月30日　夏越大祓
　（茅の輪くぐり神事）
　合祀八坂神社例祭
7月吉日　〃　神輿渡御
　吉日　形代流し神事
　（於　霞ヶ浦）
9月　例大祭
　15日　例祭
　19日　神幸祭
　20日　奉祝祭・奉納相撲
　21日　還幸祭
　吉日　秋季慰霊祭
10月2日　愛染神社例祭
　吉日　總社の調べ
11月　總社園遊会
　七五三祭
　26日　松尾神社例祭
12月6日　新嘗祭
　31日　師走大祓
毎月1日　月次祭
　（どなたでも参列できます）

○風土記編纂千三百年記念
常陸國總社宮本殿修復御奉賛のお願い

常陸國總社宮の御本殿は皆川山城守により寛永4年（1627）に建立された境内最古の建造物です。平成17年4月石岡市指定文化財に登録され、石岡市の貴重な文化遺産として認められました。しかしながら約380年の歳月が流れ老朽化し、更には東日本大震災により建物が破損、玉垣も倒壊し早急に修復が必要との声が高まって参りました。

去る平成25年は常陸國風土記編纂千三百年の年に当たり、これを記念して御本殿修復事業を策定いたしました。氏子崇敬者各位はもとより石岡市民の心の故郷である当宮の御本殿修復のため、趣旨御賢察の上何卒御協力賜りますようお願い申し上げます。

○**常陸國總社宮本殿**（石岡市指定文化財）。
寛永4年（1627）に皆川山城守により建造。天和3年（1683）修繕、明治19年（1886）に銅板葺きを行う。9月の例大祭には御扉が開かれ、御分霊が大神輿に遷される。

奉賛者待遇

会員種別	金額	外陣内拝観	御玉垣芳名	御案内 遷座祭	御案内 竣功奉祝祭	永久芳名板	感謝状	記念品	神札
特別名誉会員	三〇〇万円以上	○	○	○	○	○	○	○	特大神札
名誉会員	一〇〇万円以上		○	○	○	○	○	○	特大神札
一級有功会員	五〇万円以上		○	○	○	○	○	○	大神札
二級有功会員	三〇万円以上			○	○	○	○	○	大神札
三級有功会員	一〇万円以上			○	○	○	○	○	中神札
一級賛助会員	五万円以上				○	○	○	○	中神札
二級賛助会員	三万円以上						○	○	中神札
三級賛助会員	一万円以上							○	小神札
協賛員	五千円以上								小神札

【事業計画】

▼**平成26年**／6月30日設立総会／7月1日奉賛活動開始

▼**平成27年**／6月～7月委員総会中間報告▼**平成28年**／1月～2月仮殿地鎮祭・仮殿造営工事・仮殿遷座祭（本殿から仮殿へ御神体を遷座する神事）／3月～8月本殿修復工事（約6カ月間を予定）／8月～9月本殿遷座祭・奉祝行事・仮殿解体工事／11月～12月奉賛会解散式（事業・収支決算報告、表彰など）

お申込み方法

【社頭受付】社務所にて御芳名などをご記入の上、直接お納め下さい。

【郵便振替の場合】振込取扱表にご記入の上、最寄りの郵便局よりお振込下さい。振替口座番号 00110-5-513601

【銀行振込の場合】下記の金融機関にお振込下さい。

○常陽銀行石岡支店 普通 1875684　○水戸信用金庫石岡中央支店 普通 3028202
○筑波銀行石岡支店 普通 1133876　○茨城県信用組合石岡支店 普通 7543629
○東日本銀行石岡支店 普通 378111　○ゆうちょ銀行068支店 普通 1403425

【口座名義】
常陸國總社宮本殿修復奉賛会（ヒタチノクニソウシャグウ ホンデンシュウフクホウサンカイ）　会長 長谷川（ハセガワ） 晴彦（ハルヒコ）

❖常陸國總社宮　TEL 0299-22-2233　FAX 0299-22-3846
Email soushagu@poplar.ocn.ne.jp　URL www.sosyagu.jp